当たり前を支える 下水道

下水道90周年を迎えて

普段は目に見えない下水道の大切さを紹介します。今年は千葉開府９００年、市が下水道事業に着手してから90周年が重なる特別な年です。また、令和8年8月千葉豪雨を受け、下水道が果たす役割の重要性が改めて注目されました。この機会に、下水道について考えてみませんか。

問下水道営業課 ☎245-5411 FAX245-5563

下水道が守る暮らしとまち

下水道のあゆみ



アクアパパ

平成初期ごろは生活排水が側溝や川へ流れ、悪臭や水質汚染などが問題となっていました。現在では下水道が普及したことにより、衛生的で快適な暮らしが実現しています。

例 花見川の水質を改善



安全を未来へつなぐ下水道調査



かわチャン

下水道を安全に使い続けるため、老朽化対策を進めています。埼玉県八潮市の道路陥没を受けて実施した調査では、緊急対応が必要な箇所は確認されませんでした。今後も計画的な点検や調査を行い、適切な維持管理に取り組みます。調査結果など詳しくは、千葉市特別重点調査

豪雨からの復旧



クリーンママ

下水道は、災害時や災害後においても機能を回復することが重要です。日常生活を取り戻すため、千葉豪雨で被害を受けた箇所について、現在災害復旧に取り組んでいます。

ドローンなどによる調査を行っています！



下水道施設などの復旧作業の例



みんなで守ろう！未来の下水道

使用料は下水道の支えです

下水道には下水処理場やポンプ場、下水道管など、たくさんの施設があります。施設の老朽化も進むことから整備や維持管理には多くの費用が必要で、皆さんからいただく使用料でまかなっています。



下水道は、使用する皆さんとともに支えていくものです。油を排水口に流さないなど、一人ひとりが下水道を大切に使いましょう！

下水道キャラクター　カワウソ一家

豪雨の被害を減らすために

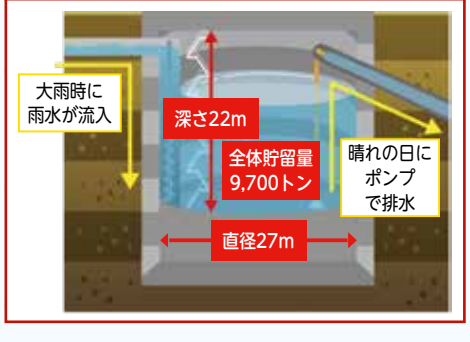
雨水貯留施設の整備

浸水被害軽減のため、市内各地で雨水貯留施設の整備を進めています。現在、千葉公園（中央区弁天）の地下では25メートルプール約25杯分（約9,700トン）の雨水がためられる貯留槽の工事を行っています。

詳しくは、弁天 貯留槽



千葉公園の地下で整備する貯留槽のイメージ



家庭でできる豪雨への備え

被害の復旧には時間を要します。市による対策に加え、各家庭での備えも大切です。

防水板

設置することで、雨水の流入を防ぎ、浸水被害を軽減できます。

助成金など詳しくは、千葉市　防水板



下水道水位情報

雨水管やマンホール内に水位計を設置し、水位情報を公開しています。

詳しくは、千葉市　水位計

メールでお知らせが届きます！

雨水タンク・浸透ます

雨水を貯留または浸透させることで、河川などへの流入を抑制し、浸水被害の軽減につながります。

補助金など詳しくは、千葉市　雨水タンク



土のう

出入口などに設置することで、雨水の流入を防ぎ、浸水被害を軽減できます。自由に土のうを使うことができる「土のうステーション」を市内に設置しています。詳しくは、千葉市　土のう

固定資産税･都市計画税第3期の納期限は12月25日㈭です。市税は、インターネットからクレジットカードで納付できます。詳しくは、千葉市税　クレジット納付